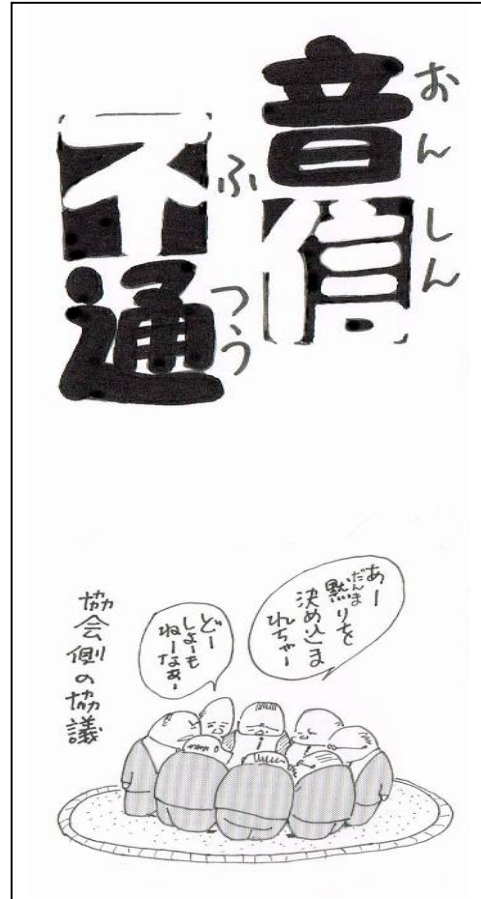


ふつうは遠隔の地（または行方不明など）で十年二十年も何の便りも連絡もない場合を、音信不通というようだが、そうとは限らない。近くにいっても何ヶ月も何の音沙汰も連絡もない場合、だんまりを決め込むのを音信不通といつても差し支えないと思う、わたしは。

貴乃花親方がつづけている音信不通の経緯をおさらいすると――

この発端は去年の10月26日未明、鳥取市内でモンゴル人力士の酒席でのこと。当時横綱だった白鵬や日馬富士らが、後輩力士の貴ノ岩に暴行に及んだがその後の鳥取巡業には何もなかったように、殴られた貴ノ岩も参加したが、29日、貴ノ岩側が突如、鳥取警察に被害届け（貴ノ岩が暴行された）を貴乃花

先週、回答



部屋から提出された。

不思議なのは、貴乃花部屋の親方貴乃花は警察に被害届けを提出したことを相撲協会に報告せず、相撲協会側は11月2日警察から被害届けが出されていることを知らされてびっくり。翌日、協会が貴乃花親方に問い合わせたところ相撲協会危機管理部長に「よく分からないう」と提出した貴乃花本人の返答に二度びっくり。たちまち日馬富士暴行事件が世間を騒がすことになる。

その後、貴ノ岩貴ノ岩が入院。医師が診断書を作成。12日からの九州本場所には初日から貴ノ岩は休場。3日目から日馬富士も休場。急遽協会は酒席に参加した力士から事情聴取するも、貴ノ岩、貴乃花親方は聴取を拒否。27日の横綱



審議委員会の定例会でも貴乃花は口を閉ざしたまま。同日、暴行の張本人と目された横綱日馬富士は無念の引退届けを提出して受理される。

その後も再三にわたって貴乃花部屋に使者（鏡山親方）が訪れるも門前払いの無言。

一説によると貴乃花親方は、相撲道に對しての自分の信念があり、その点で現相撲協会と対立しているとのこと。もし確固たる信念がおありなら、音信普通をつづけるよりも、堂々と天下にその信念とやらを訴えたらどうかと、口はばつたいようだが、わたしは思う。

もともと、聞くところによると、兄（若乃花）も母親（藤田紀子）も、ここ十数年貴乃花とは音信不通とのこと。

となると、貴乃花には音信不通がふつ――なのかも知れない。

今週の問題



□の中に漢字を埋めて
四字熟語を完成させてください。